

令和7年11月12日

町民の皆様へ

草津町長 黒岩 信 忠

《トップセールス、入り込み状況について》

- ① 令和7年11月5日、黒岩町長、宮崎謹一議長、黒岩卓総務観光委員長、上坂国由民教土木委員長、宮崎観光課長のメンバーでトップセールスを行ってまいりました。
- ② 訪問先は、NHK 前橋放送局、上毛新聞本社、JR 東日本高崎支社です。各社ともトップと幹部の方々に対応して頂きました。日頃のお礼と、今後草津町が新たに行う事業をPRしてまいりましたが、大変有意義な会談で各社ともまちづくりを高く評価しております。
- ③ 翌日の6日には東京のリクルートじゃらん net 本社、楽天トラベル本社、観光経済新聞本社へ訪問、送客のお礼と情報交換を行ってまいりました。じゃらんは令和7年度、草津町への売上高が63億としています。
- ④ 楽天もこれに続く売り上げになるようです。両社とも進化を止めない草津温泉のまちづくりを高く評価していただき、草津温泉への送客数は、全国平均より高い伸び率にある説明を受けました。
- ⑤ 町は毎月の入り込みを集計しています。前年対比で横ばい若しくは微増の状況にあり、陰りを心配していましたが、じゃらん、楽天とも前年度を上回っており、ほっとした感があります。
- ⑥ ビジネス環境は、白根山噴火警戒レベルが1から2に引き上げられ志賀草津高原ルートが通行止めになっています。また、今年は関西万博の影響も否定できません。このような状況下でも入り込みを維持できているのは草津温泉の魅力度が上がっているこ

とに他なりません。

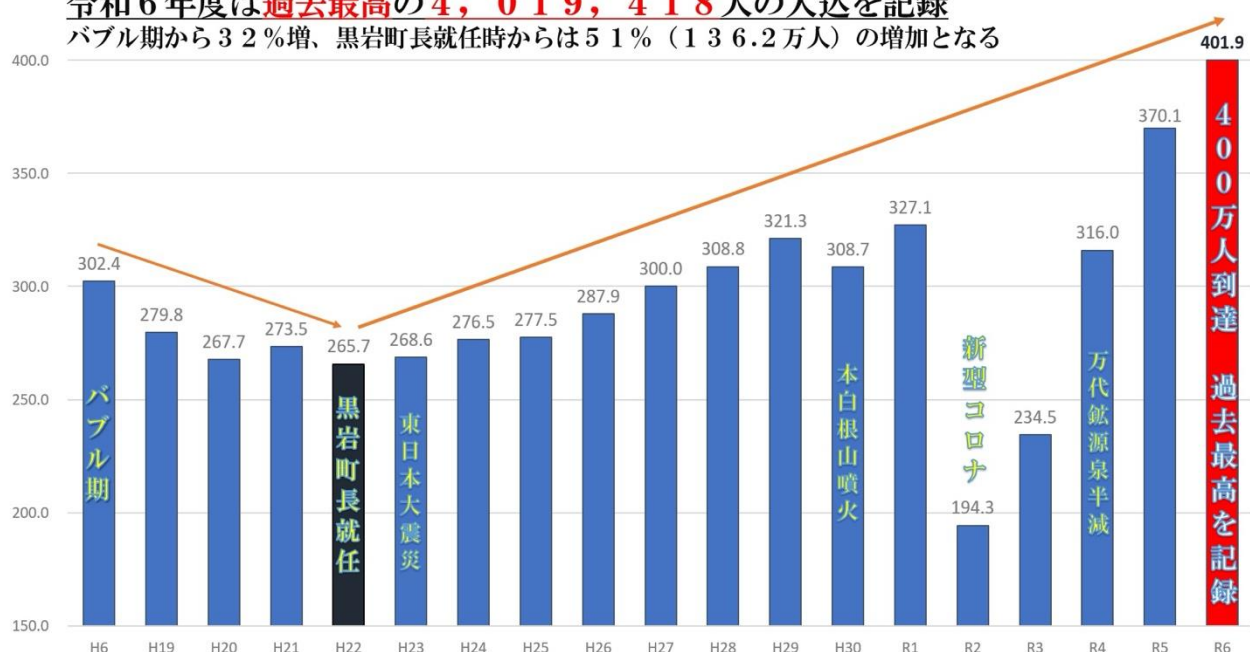
- ⑦ コロナ禍ではどこの観光地も大幅に入り込みが落ちましたが、注目すべきデータがあります。JR バス関東の営業路線は17支店あるそうですが、16支店の乗車率が20%まで落ちたのに対し、長野原支店（草津エリア）は40%の乗車率です。つまり、草津路線も大きく落ち込んだものの、他の路線の2倍利用者がいたことになります。当時の社長から「**草津温泉さま様です**」とお礼を言われました。もし、まちづくりをおこたえたら他の路線と同じ落ち込みになったと思います。
- ⑧ 入り込みは順調に推移して他の温泉観光地が羨む草津温泉です。しかし大きな災害（首都直下型地震、南海トラフ地震、火山噴火、新たなウイルスによるパンデミック）が発生したら日本経済のダメージは計り知れません。その時、草津温泉の民間経済が持ち堪えられるか憂慮しております。
- ⑨ 底力のあるものは生き残りますが、体力のない所は存亡の危機になると思います。今でも客離れが進んでいる観光地などは、災害がきっかけで消滅してしまうかも知れません。災害は必ずやってきます。有事の際、生き残るにはどうしたらいいか？それは草津温泉の魅力を高めていくことにあります。各事業所のブラッシュアップと行政が行うまちづくりにあると思います。
- ⑩ 抽象論ではなく、事業を進めるに連動して入り込み数は伸びてきました。ふるさと納税の伸び率も同様の傾向にあります。土地の上昇率も県内1～2位となり、500万人の入り込みが絵空事ではなく現実味を帯びてまいりました。
- ⑪ そのまちづくりはリーダーの理念と覚悟、一流プロ設計集団と方向性が一致することが重要です。また長い時間と莫大な予算を費やすことになりますが、途中でリーダーと設計者が変わると方向性も変わってしまいます。作っては壊しの繰り返しではなく、100年先にも存在するまちづくりをしなければなりません。為政者が「**長すぎる、飽きた**」と揶揄する声もありますが、現在進行中のまちづくりは、草津温泉の魅力度

を高める一大事業で、各事業所の利益へ^{つな}繋げていくことを一番としています。経営が良くなれば働く人たちの給与に反映されるでしょう。

- ⑫ 7月30日、湯布院のリーダーが草津を訪れましたが、「たった16年でこれほどまちを変えた温泉地はない。」いま草津温泉へ行くことがトレンドになっていると高評価をしてくれました。いっときも^{とど}止まることなく異例のスピードで進めて来ましたが、歴史に残るまちづくりは時間がかかります。
- ⑬ 最後の総仕上げとして、中央通り整備の延伸、泉水通り整備、滝下通り整備（石畳の歩道、趣のある照明等）、鷲の湯跡地に東屋を整備、煮川の湯をクラシックに建て替え、長尺の足湯整備、大滝の湯周辺整備、湯川を中和するシステムを観光資源としての活用事業、旧群大分院跡地に大型駐車場整備などの事業を進めていきます。
- ⑭ 草津温泉スキー場関連では、天狗レストハウスの工事を進めておりますが、資材不足、人手不足により来年4月にオープンがずれ込みます。また3年計画で第4リフトの建て替え、天狗クワッドリフト及び殺生クワッドリフトのリニューアル等を計画しております。西之河原公園有料駐車場の舗装化も来年行います。【表は入り込みの推移】

草津温泉の入込客数の推移

令和6年度は過去最高の**4,019,418**人の入込を記録
バブル期から32%増、黒岩町長就任時からは51%（136.2万人）の増加となる



《くらし応援商品券事業（1人1万円）について》

- ① 12月より第8回、草津町くらし応援商品券事業を行います。1回の事業費に6,000万円ほどかかりますが、その都度、国から一定の補助金がありました。しかし今回は380万円と僅かの補助金だけですが、少しでも町民の皆様に応援できればと思い決断をしました。8回おこなうと総事業費は約4億円になりますが、下記の表のとりの行財政改革が進んだからこそ成しえる事業です。財政難等で0回の市があります。
- ② いま草津小中学校の建て替えの議論をいただいておりますが、方向性を示さなければなりません。また家族で遊べる公園の要望もあり、場所の選定と規模について議論をしていきたいと思います。
- ③ 何々を作る、何々をするは簡単に言えます。しかしその前に必要な資金を用意しなければなりません。他の市町村との違いは投資から金を稼ぎ出しているのです。その投資先がまちづくりです。まちづくりが大きな果実を実らせていることになります。
- ④ 16年前町長就任時、借金が58億円、基金預金が28億円でした。これを令和6年度決算で借金を43億円まで減らし、基金預金を3.6倍の99億4千万円まで増やしてまいりました。福祉教育を含め255億円を投資しながらの財政改革です。

草津町における基金及び企業会計の推移

